

江別市高齢者総合計画の策定に向けた実態調査

【第2号被保険者】

■記入方法

- ・この調査は、平成29年1月1日現在の状況についてお答えください。
- ・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。
- ・回答は、原則として「いくつでも」や「3つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字1つに○をつけてください。

設問によっては、数字を直接記入する場合があります。

「その他」を選んだ場合は、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、

平成29年2月10日（金）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>

江別市健康福祉部介護保険課

TEL 381-1067

＜該当する選択肢の番号に○をつけてください＞

第 1 あなたのご家族や生活状況について	
問 1. あなたの性別についてお答えください。	
1. 男性	2. 女性
問 2. 平成 29 年 1 月 1 日現在のあなたの年齢をお答えください。	
1. 40～44 歳	2. 45～49 歳
3. 50～54 歳	4. 55～59 歳
5. 60 歳以上	
問 3. 現在、どちらにお住まいですか。町名等を○印で記入してください。	
1. 江別地区	1 条、2 条、3 条、4 条、5 条、6 条、7 条、8 条、緑町西、緑町東 萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘 上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町 ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町 いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西 萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌 豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
2. 野幌地区	錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台 野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町 野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌 緑ヶ丘、あさひが丘
3. 大麻地区	文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町 大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町 大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町 大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町
問 4. 家族構成をお教えてください。	
1. 1 人暮らし	2. 夫婦 2 人暮らし
3. 親と同居	4. 子と同居
5. その他 ()	
問 5. 現在、介護を必要とする高齢者などの方と同居（2 世帯住宅を含む）していますか。	
1. 介護を必要とする高齢者などと同居している	
2. 今はいないが、今後同居する予定がある	
3. 同居していない	
4. その他 ()	

問 6. あなたは親子の同居について、一般的にどのように考えますか。		
1. できる限り一緒に暮らすのがよい		
2. 親が元気なうちは別居し、身体が弱ったら一緒に暮らすのがよい		
3. 近所に住んで行き来ができれば、別居するほうがよい		
4. できれば、別居するほうがよい		
5. その他 ()		
問 7. 現在のお住まいはどちらですか。		
1. 持家（一戸建て）	2. 持家（集合住宅）	
3. 公営の賃貸住宅	4. 民間の賃貸住宅（一戸建て）	
5. 民間の賃貸住宅（集合住宅）	6. 民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	
7. 社宅・間借り	8. その他 ()	
問 8. あなたは現在、育児や介護をしていますか。		
1. 育児のみをしている	2. 介護のみをしている	
3. 育児と介護の両方をしている	4. どちらもしていない	
問 9. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
問 10. もしあなたご自身の介護が必要となった場合、どこで生活をしたいですか。		
1. 可能な限り、在宅で生活をしたい		
2. 介護保険施設へ入所したい		
3. ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい		
4. その他 ()		
5. わからない		
問 11. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はどなたですか。 (いくつでも)		
1. 自治会（町内会）	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・市役所	6. その他 ()	
7. そのような人はいない		

第2 健康と通院状況について

問1. あなたは、通院によって、医師にどのくらいの頻度でみてもらっていますか。

- | | | |
|------------|---------|-----------|
| 1. 通院していない | 2. 月に1回 | ⇒ 問1-1へ |
| 3. 月に2回 | ⇒ 問1-1へ | 4. 週に1回 |
| 5. 週に2・3回 | ⇒ 問1-1へ | 6. 週に4回以上 |
| | | ⇒ 問1-1へ |

問1-1. (問1で「2.」～「6.」のいずれかに回答した方のみ)

通院している主な原因はなんですか。(いくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 高血圧 | 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) |
| 3. 心臓病 | 4. 糖尿病 |
| 5. 高脂血症(脂質異常) | 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 8. 腎臓・前立腺の病気 |
| 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) | 10. 外傷(転倒・骨折等) |
| 11. がん(新生物) | 12. 血液・免疫の病気 |
| 13. うつ病 | 14. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 15. パーキンソン病 | 16. 目の病気 |
| 17. 耳の病気 | 18. その他() |

問2. 自力で通院出来なくなった場合、どのような方法で医師にみてもらいたいですか。(いくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 訪問診療(往診) | 2. 介護タクシーで通院 |
| 3. 家族の付き添いで通院 | 4. ヘルパーの付き添いで通院 |
| 5. ボランティアの付き添いで通院 | 6. その他() |

問3. あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気軽に相談できる「かかりつけ医(主治医)」がいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問4. あなたは「かかりつけ医(主治医)」の必要性を、どうお考えですか。

1. 常に必要である
2. 継続して治療を要する病気になったら必要とする
3. 必要でない
4. どちらともいえない
5. その他()

問5. あなたはこの2年間に健診を受けたことがありますか。	
1. 受けた ⇒問5-1へ	2. 受けていない
問5-1. (問5で「1」と回答した方のみ) 健診をどこで受けましたか。	
1. 職場の定期健診 ⇒問6へ	2. 市が行う健診 ⇒問5-2へ
3. その他 () ⇒問6へ	
問5-2. (問5-1で「2」と回答した方のみ) 実際に受けられた健診の場所はどこですか。	
1. 保健センター	2. 北海道対がん協会
3. 病院・医院	
問6. あなたは、健康を維持するために、心がけていることはありますか。 (いくつでも)	
1. ウォーキングなどの運動・体操をする	2. 趣味を持つ
3. 食事の栄養バランスに気をつける	4. 休息や睡眠をとるようにする
5. 規則正しい生活を心がける	6. その他 ()
7. 特にない	

第3 高齢期の健康と福祉へ望むこと
問1. 健康について、どのようなことが知りたいですか。(いくつでも)
1. がんや高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について
2. 望ましい食生活の工夫について
3. 運動の方法について
4. 検診の内容や受け方について
5. 寝たきり予防について
6. 歯の健康について
7. 認知症の予防について
8. 心の健康保持について
9. その他 ()
10. 特にない
問2. 地域包括支援センターを知っていますか。
1. 知っている 2. 聞いたことはあるが何をするとところかは知らない 3. 知らない
※ 地域包括支援センターとは、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士が配置され、高齢者の総合的な支援窓口としての役割を担う機関です。

問3. 地域包括支援センターに、あなたが特に期待するのはどれですか。(3つまで)

1. 地域での介護予防の普及や教室の開催
2. 介護保険制度や福祉制度の総合相談窓口
3. 様々な困りごとの相談窓口
4. 認知症の早期発見や予防に関する情報の発信
5. 介護技術や様々な介護に関する情報の発信
6. 高齢者虐待・悪徳商法などから高齢者を守る活動
7. 成年後見制度の案内や利用支援
8. 自治会(町内会)・民生委員など福祉のネットワークの構築
9. 病院など医療関係者とのネットワークの構築
10. 地域の高齢者を見守る中心的存在
11. ケアプランの作成
12. その他()

※ 成年後見制度とは、認知症や障がいなどで判断能力が十分ではないが、不利益を被らずに日常生活を過ごすことができるよう本人の意思を尊重し、権利や財産を守るための制度です。

問4. 介護保険制度において、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れるべきことはなんでしょうか。(2つまで)

1. 介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実
2. 介護支援専門員(ケアマネジャー)やサービス提供事業者に関するPRや情報提供の充実
3. 訪問サービス(ホームヘルプや訪問看護など)の量や質の充実
4. 通所サービス(デイサービスなど)の量や質の充実
5. 入所施設の確保
6. 苦情相談窓口の充実
7. その他()

問5. 介護にかかわる支援事業のあり方について、特に力を入れるべきことはなんだと思いますか。(2つまで)
1. 介護予防や健康づくり事業など保健事業の充実 2. 認知症の予防や早期発見、支えるための施策の充実 3. 成年後見制度などの権利擁護のための制度の案内や利用支援 4. 家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実 5. 高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 6. 高齢者が参加できるボランティアグループなどの紹介・相談 7. 高齢者クラブ・趣味のグループなどの紹介・相談 8. 学習や講座などについての情報提供 9. 高齢者の働く場についての情報提供 10. その他 ()

第4 地域での活動や手助けについて
問1. あなたはちょっとした手助け(家事や買い物など)を家族以外の近所の人にお願いすることができますか。
1. お願いできる 2. お願いできない 3. わからない
問2. あなたは、家族以外の近所の人からちょっとした手助け(家事や買い物など)をお願いされたら引き受けますか。
1. 引き受ける 2. 引き受けない 3. わからない
問3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか。
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない
問4. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)として</u> 参加してみたいと思いますか。
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

<p>問5. (問3または問4で「3. 参加したくない」と回答した方のみ) 地域での活動に参加したくない理由を教えてください。(いくつでも)</p>	
<p>1. 仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから 2. 時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから 3. 参加したいと思う活動がないから 4. 自宅の近くに活動の場がないから 5. 団体活動はわずらわしいから。一人でできる趣味などがあるから 6. どんな団体や活動があるのか知らないから 7. 職場などでサークル活動などに参加しているから 8. 健康や体力に自信がないから 9. 地域の活動には関心がないから 10. 外出する手段がないから (送迎や誰かの手助けが必要) 11. その他 ()</p>	
<p>問6. 今後、あなたが地域活動などに参加する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすと思いますか。(いくつでも)</p>	
<p>1. 活動情報の提供があること 2. 活動や団体を紹介してくれること 3. 友人等と一緒に参加できること 4. 気軽に参加できそうな活動があること 5. NPO団体や自主サークルの立ち上げ支援があること 6. 活動拠点となる場所があること 7. 時間や期間にあまりしぼられないこと 8. 身近なところで活動できること 9. 適切な指導者やリーダーがいること 10. 身体的な負担が少ないこと 11. 金銭的な負担が少ないこと 12. その他 () 13. どのような条件でもできない</p>	
<p>問7. (高齢者のみならず) 地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(3つまで)</p>	
<p>1. 安否確認の声かけ 2. ちょっとした買い物やゴミ出し 3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い 4. 食事の提供 (会食・配食など) 5. 通院や外出の手助け 6. 電球交換や簡単な大工仕事 7. 話し相手や相談相手 8. 冬期間の除雪 9. 災害時の手助け 10. その他 () 11. 特になし</p>	

第5 認知症について

問1. あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
4. 認知症になると、幻覚・妄想・徘徊などの症状により、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5. 認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう
6. その他 ()
7. わからない

問2. 認知症に対して不安に思いますか。

1. 不安に思う
2. 今は大丈夫だが将来不安
3. 心配ない

問3. 認知症について相談できる場所はありますか。(いくつでも)

1. 家族
2. 地域包括支援センター
3. 市役所
4. かかりつけ医(主治医)
5. 病院
6. 介護サービス事業所
7. ケアマネジャー
8. 社会福祉協議会・民生委員
9. その他 ()
10. 特になし

問4. 市では、地域の皆さんを対象として「認知症サポーター」(認知症について正しい理解を持ち、認知症の人の応援者としてご本人や家族を暖かく見守る人)になるための講座を開催しています。

あなたは「認知症サポーター」をご存知ですか。

1. 知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない

問5. あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思いますか。

1. 受講したい
2. 受講したくない
3. すでに受講した

問5-1. (問5で「2」と回答した方のみ) 受講したくない理由を教えてください。

1. 仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
2. 時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
3. 興味がないから
4. その他 ()

第6 介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問1. 介護サービスと保険料の在り方について、あなたのお考えに一番近いのはどれですか。

1. 保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい
2. 介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない
3. 介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい
4. 介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい
5. その他 ()
6. わからない

問2. 介護保険サービス（訪問介護や住宅改修など）を利用する際には、要介護認定を受ける必要があることを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問3. 地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。

(3つまで)

1. 生きがい・社会参加への支援
2. 働く機会への支援
3. ボランティアや地域活動の充実
4. 介護予防・健康づくりの推進
5. 1人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6. 多様な生活支援サービスの充実
7. 介護保険サービスの充実
8. 入所施設の整備
9. 認知症高齢者とその家族への支援
10. 地域包括支援センターの充実
11. 住まいに関する情報提供の充実
12. その他 ()
13. わからない

意見 さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉について、新たなサービスの提案等ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票は3つ折りにして、同封した返信用封筒にて

平成29年2月10日(金)まで に返送してください。

